

平成 30 年度日本水産学会北海道支部大会の開催について

北海道支部 支部長 安井 肇
支部大会委員長 宮園 章

日本水産学会北海道支部大会を下記のとおり開催します。大会では一般研究発表に加え、シンポジウムおよび若手の会講演会を開催しますので、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

日 程 平成 30 年 11 月 23 日（金：祝日）午後、24 日（土）午前・午後
場 所 釧路市生涯学習センター まなぼつと幣舞（釧路市幣舞町 4 番 28 号）

プログラム

11 月 23 日（金）

13:00-17:00 一般研究発表（第 1 会場：会議室 802, 803 号室, 第 2 会場：学習室 705, 706 号室）

17:15-17:30 表彰式（第 1 会場）

18:00-20:00 交歓会（9F 展望レストラン まいづる：予定）

11 月 24 日（土）

09:00- 9:45 支部幹事会（学習室 704）

10:00-10:45 支部総会（第 2 会場：学習室 705, 706）

11:00-12:00 若手の会講演会（第 2 会場：学習室 705, 706）

13:00-16:45 公開シンポジウム（2F 多目的ホール）

若手の会講演会「サケ類の遺伝特性分析 -三陸岩手のサケ類を中心に-

塚越英晴（岩手大三陸水研セ）

公開シンポジウム「環境変動を考慮した北海道の水産増殖の展望」

企画責任者：宮園 章（釧路水試）、千葉 晋、塩本明弘、渡邊研一（東京農大生物産業）

開催趣旨：サケ、ホタテガイに代表される北海道の沿岸漁業の成功は、水産増殖の技術改良による
ところが多い。これまでの水産増殖の主成分は栽培漁業と呼ばれる種苗生産とその放流であり、そ
の技術は目覚ましい発展を遂げてきた。ところが、近年は、気候変動の影響と思われる大きな環境変
動下にあつて、放流後の種苗の生残の不安定化などが懸念されるようになってきた。特に、台風等の
強力なインパクトをもつ環境変化が漁場や水産資源に及ぼす影響は深刻であるため、そのようなリス
クを想定した水産増殖のありかたを検討する価値がある。本シンポジウムでは、水産増殖について養
殖を含む広義の意味で捉え、遺伝子や生物種、生態系の特性を利用した柔軟な管理の在り方について
考えていきたい。

1. 北海道沿岸における環境変動リスク 黒田 寛（水産機構北水研）
2. コンプ資源の保全－環境変動によるリスクとその対応－ 四ツ倉典滋（北大フィールド科セ）
3. 時化がホタテガイ漁業に及ぼす被害を評価するハザードマップの開発 福田裕毅（道中央水試）
4. 野生魚を活用したサケ増殖事業へのいざない 森田健太郎（水産機構北水研）
5. 北海道における森林産業と将来に向けた試み 石塚 航（道林試）
6. これからのモニタリング 宮下和士（北大フィールド科セ）
7. まとめと論議 千葉 晋（東京農大生物産業）

申込方法

1. E-mail（推奨）、郵便または Fax にて、1) 氏名、2) ふりがな、3) 所属、4) 会員種別（正会員、学生会員）、5) 会員番号（手続き中はその旨記入）、6) 連絡先住所、7) 電話番号、8) E-mail アドレス、9) 発表者として一般研究発表の有無、10) 交歓会出欠、11) 若手の会講演会出欠、12) シンポジウム出欠を記入してください。一般研究発表を行う場合には、発表者が 13) 演題名、14) 発表者名（所属）（共同発表者全員）、15) 講演賞選考希望の有無と受賞条件の確認（45 歳未満の一般会員か）等

の必要項目を記載し、要旨（Word あるいは PDF 形式）を添付の上、下の申込先宛に送信（送付）願います。

2. 発表申込・要旨締切日 平成 30 年 10 月 19 日（金）
（講演要旨の作成要領は、日本水産学会ホームページ内「支部のページ」にある北海道支部 (<http://www.miyagi.kopas.co.jp/JSFS/SHIBU/HO-DOU/index.html>) のページを参照してください。)
 3. 参加のみの場合の申込締切日 平成 30 年 11 月 9 日（金）
 4. 申込先
〒085-0027 釧路市仲浜町 4-25
道総研釧路水産試験場 平成 30 年度日本水産学会北海道支部大会事務局 宮園 章
Tel : 0154-23-6221 Fax : 0154-24-7084 E-mail: miyazono-akira@hro.or.jp
 5. 参加費等 大会参加費は無料、会員交歓会参加費は当日会場にて徴収します。
交歓会 5,000 円程度を予定しています（学生参加者は 2,500 円程度）。
 6. 問い合わせ先
平成 30 年度日本水産学会北海道支部大会事務局
道総研釧路水産試験場（〒085-0027 釧路市仲浜町 4-25）
宮園 章・中多章文
Tel : 0154-23-6221 Fax : 0154-24-7084 E-mail: miyazono-akira@hro.or.jp
- * 支部会員には封書にて案内を送付します。また、プログラム・発表方法・要旨作成等の詳細については、日本水産学会ホームページ内「支部のページ」の北海道支部のページに随時掲載しますのでご覧下さい。

平成 30 年度 日本水産学会 北海道支部大会 参加申込用紙

a) この申込書を E-mail (推奨) か郵送で下記へ申し込んで下さい。E-mail で申し込みの場合、この申込書の順番に従って、1) 氏名、2) ふりがな、3) 所属、4) 会員種別、5) 会員番号、6) 連絡先住所、7) 電話番号、8) E-mail アドレス、9) 発表者として一般研究発表の有無、10) 交歓会の出欠、11) 若手の会講演会 出欠、12) シンポジウム出欠を記入してください。一般研究発表を行う場合には、発表者が13) 演題名、14) 発表者名(所属) (共同発表者全員)、15) 講演賞選考希望の有無と 受賞条件の確認等の必要項目を記載し、要旨 (Word あるいは PDF 形式) を添付の上、下記の申込先宛に送信 (送付) 願います。

〒085-002 釧路市仲浜町 4-25 道総研釧路水産試験場
平成 30 年度日本水産学会北海道支部大会事務局 宮園 章
E-mail: miyazono-akira@hro.or.jp

b) 申し込み期限: 10 月 19 日(金) 必着

c) 該当する文字または記号を○で囲んで下さい。

d) 発表者氏名が連名の場合は・で連ね、研究発表者の左肩に° 印をつけて下さい。氏名の後に所属の略記を()で囲んで入れて下さい。

e) 連絡先住所氏名、E-mail アドレスは必ず記入して下さい。

参加申込書

平成 30 年 月 日

1) 氏名:

2) ふりがな:

3) 所属:

4) 会員種別: 正会員 ・ 学生会員 ・ その他

5) 会員番号: (申請中はその旨記入)

6) 連絡先住所: (勤務先, 自宅) (〒)

7) 電話:

8) E-mail:

9) 発表者として一般研究発表: 有り ・ 無し (共同発表者であるが発表しないを含む)

10) 会員交歓会: 参加 ・ 不参加

11) 若手の会講演会: 参加 ・ 不参加

12) シンポジウム: 参加 ・ 不参加

【以下は、一般研究発表有りの発表者のみが申請してください】

13) 発表演題名:

14) 発表者名(所属) (共同発表者も記入):

15) 最優秀講演賞選考希望: 有り (45 歳未満一般会員であるか はい ・ いいえ) ・ 無し
最優秀学生講演賞選考希望 (学生会員のみ): 有り ・ 無し